

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「TSUTAYA、プレ金に無料缶ビール レンタル利用で」
- 2) 「立命館大が日本初の“食のプロ”育成拠点を設立」
- 3) 「経産省公式、日本の美しさを再発見できるフォトアーカイブ“FIND/47”」

---

#### 1) 「TSUTAYA、プレ金に無料缶ビール レンタル利用で」

TSUTAYA（東京・渋谷）はプレミアムフライデーに合わせ、DVDレンタルなどの利用客を対象に約1200店で缶ビールを無料で配る。サントリーと組み3月から一部店舗で同様の取り組みをしてきたが、来店客増加の効果がみられたことから対象店舗を全国に広げる。ビールの需要が高まる夏の販促として、28日と8月25日に実施する。午後3時以降にDVDやCDを借りたり、本を購入したりした20歳以上の客にサントリーの「ザ・プレミアム・モルツ」（250ミリリットル）を1本配る。

TSUTAYAが展開するこの新しいサービスは社会人のみならず、主婦や年配の方々など幅広い客層にも支持されるのではないかと思われる。ありそうでなかったこのサービスは、さらに実施店舗数を増えていく傾向があると思われるので今後のTSUTAYAのサービスに注目していく。

---

#### 2) 「立命館大が日本初の“食のプロ”育成拠点を設立」

立命館大学は2018年4月、「食」に関する総合的な高等教育を行う新学部「食マネジメント学部」をびわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市）に開設する。仏料理教育機関ル・コルドン・ブルーと提携し、日本の教育機関で初となる「ガストロノミー（美食学）」の本格的な教育研究拠点を作る。日本の食文化を発信したり、食によって地域の活性化を担ったりする人材を育成するほか、日本食に興味を持つ留学生の獲得も狙う。

食を学問としてとらえ、食に関する深い知見と高度なマネジメント能力を備える人材を4年間で育てる。定員は1学年320人の予定。食マネジメントの学士号を与える。

立命館大とル・コルドン・ブルーが共同で作成したカリキュラムに沿い、経済学と経営学を基盤としつつ、歴史学や文化人類学、アグリビジネス、リスクコミュニケーションなど幅広い領域を学ぶ。

さらに、両機関の講座の単位を互換可能にし、卒業時はル・コルドン・ブルーの修了資格も得られる。

学部長に就任予定の朝倉敏夫教授は、「社会科学、人文科学、行動科学の三つの観点から食を総合的にとらえる。食に関する国内外の課題の解決に寄与する人材を育成する」と狙いを語る。

米国やイタリアなど世界ではガストロノミー教育が進んでいるが、日本で系統的に学べる機関はこれまでほとんどなかった。

調理師学校や栄養学を学ぶ学校はこれまでもあったが、「美食学」を学べるというのはまた一つ将来の選択肢が広がって良いと思った。ル・コルドン・ブルーの修了資格が与えられるのもポイントが高いのではないか。少子化対策として今までになかった学部を開設する学校が増えているが、こうした学部が日本初ということにも驚いた。

---

### 3) 「経産省公式、日本の美しさを再発見できるフォトアーカイブ“FIND/47”」

2016年8月4日に経済産業省が国内外に向け、日本の魅力を写真で伝える観光オープンプラットフォーム「PHOTO METI PROJECT」のウェブサイトをオープンした。掲載されている写真の美しさだけでなく、美しい写真を活用できるようにクリエイティブコモンズライセンスを活用できるようにしたことなどでも注目を集めた。「PHOTO METI PROJECT」のウェブサイトは、「FIND/47」と名称を変えてリニューアルされた。掲載されるのは以前と変わらず、日本各地の美しい自然、歴史的な建造物、地域のお祭りや行事などの「情景写真」だ。こうした美しい風景写真は、プロ、アマ問わず様々な写真家がこれまでも撮り続けてきていた。「FIND/47」では、こうした美しい写真たちを世界中の人が自由に使える仕組みを構築することを目指している。

写真や写真を撮影する旅行者が写真を投稿し、デザイナーや編集者などが写真を利用する。撮影したり、活用したりしなくとも、サイトを閲覧するだけでも、美しい景色たちを音楽とともに楽しむことができる。サイト内での美しい景色との出会い方は2パターンある。「探す」ページにはエリアから、シーンから、季節から日本の写真を探ることができるようになっている。だが、検索という行動はドリルダウンであるため、“偶然”は生まれにくい。そこで「FIND/47」では「出会う」という機能も用意されている。日本各地の景色がランダムで表示され、サイトを訪れたユーザーたちは未知の景色に出会うこともできる。画像の詳細情報のページからはサイズごとにダウンロードすることもできるし、ソーシャルメディアに投稿してシェアすることも可能だ。ぜひ「FIND/47」で日本の美しい景色に触れてみてほしい

去年のニュースではあるが、このようなサイトがあったことを今回初めて知った。Instagramなどの人気に伴い今写真というコンテンツは特に重要視されていると思う。経産省がこんなおしゃれなサイトを開設していることも驚きだったし、読み物や観光ガイドではなく世界中の人たちに直感的に日本に興味をもってもらうきっかけにもなるだろう。ここまで美しい写真が無料で配布されることは少ないので、ぜひ積極的に使っていきたい。